



な ぎ ちょう
奈義町

3月議会

議会だより



自覚新たに頑張ります

(後列左より) 定森廉敏・森藤政憲・小阪四郎・芦田一郎・上原伸介
 (前列左より) 岡部英生・岡 立・岡 親佐・鷹取 渡・中井泰洋

150号

令和元年5月1日発行

発行 奈義町議会
 編集 議会広報委員会

〒708-1392
 岡山県勝田郡奈義町
 豊沢306-1
 ☎(0868) 36-4191

【おもな内容】

- 議長、副議長あいさつ、議会の新体制 2 ページ
- 新年度予算について 3 ページ
- 3月議会で決まったこと 4～5 ページ
- 予算特別委員会報告、奈義中学校建て替え決議文 6 ページ
- 一般質問（8名） 7～14 ページ
- 組合議会報告、政務活動費 15 ページ
- 委員会報告、全国町村議会議員表彰、編集後記 16 ページ

町民目線での議会運営を



議長 岡 親佐

この度の議会改選により2月15日の第1回臨時会において、議員皆様の推挙をいただき、奈義町議会議長の重要ポストを賜わり身の引き締まる思いであります。

奈義町の人口減少が今重要な問題となってきています。自衛隊との共存共栄を図り、若者住宅の整備促進、子育て支援、地方創生事業

浅学非才であります。職務を遂行し、町民からの負託に応え、本町の発展と住民福祉の向上、子育て支援と安全安心なまちづくりをめざして頑張っております。

の見直し、中学校建て替え、認定こども園の建設が急がれます。

議会と執行機関が互いを尊重し認め合いながら、いかなる難局も乗り切っていくよう努めてまいります。町民の目線で、皆様に信頼される議会になるよう取り組んでまいります。

今後とも皆様の温かいご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。

誰もが関心を持ち

参加する町づくりをめざして



副議長 立 岡

も、より一層、町の為に粉砕身、働いてまいる所存です。ご指導、ご鞭撻そしてご協力をよろしくお願いいたします。

「人生は楽しく」です。

この度、議員皆様のご推挙をいただき、副議長という大役を務めさせていただきました。今後

その為には「お互いを認め合い、つながり合い、助け合い、寄り添い合い、前を向いて生きる事」が大切で

多様性の時代、いろいろな考え方、生き方があり、単純には解決しにくいことも多々でてきます。少しづつ意見を合わせながら、皆さんと共に、楽しいまちづくりが出来るよう取り組んでまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

委員会構成決まる

◎委員長 ○副委員長

(平成31年2月15日)

常任委員会	
総務	まちづくり・文教
◎岡部 英生	◎中井 泰洋
○上原 伸介	○芦田 一郎
岡 親佐	岡 立
森藤 政憲	鷹取 渡
小阪 四郎	定森 廉敏

議会運営委員会	議会広報委員会
◎鷹取 渡	◎小阪 四郎
○森藤 政憲	○中井 泰洋
岡部 英生	鷹取 渡
中井 泰洋	定森 廉敏
	上原 伸介

監査委員
小阪 四郎

演習場対策特別委員会
◎小阪 四郎
○中井 泰洋
芦田 一郎
鷹取 渡
岡部 英生

(平成31年3月22日設置)

組合議会議員

組合議会名	氏名	氏名
津山圏域消防組合 (1名)	上原 伸介	
勝英衛生施設組合 (2名)	鷹取 渡	中井 泰洋
勝田郡老人福祉施設組合 (2名)	森藤 政憲	定森 廉敏
勝英農業共済事務組合 (2名)	岡 親佐	中井 泰洋
津山広域事務組合 (1名)	芦田 一郎	
津山圏域資源循環施設組合 (1名)	岡部 英生	

平成31年度 予算

一般会計

40億5,000万円

特別会計	
国民健康保険	71,000万円
豊並財産区	760万円
分譲地造成	5,800万円
柿財産区	750万円
土地取得	350万円
介護保険	81,670万円
下水道	29,700万円
後期高齢者医療	8,300万円
東部衛生施設組合清算	9,000万円
小計	207,330万円
企業会計	
上水道	23,045万円
工業用水道	801万円
小計	23,846万円
合計	231,176万円

議会費	6,650万円
総務費	103,767万円
民生費	82,273万円
衛生費	25,291万円
労務費	301万円
農林水産業費	36,781万円
商工費	5,391万円
土木費	43,259万円
消防費	13,540万円
教育費	49,409万円
災害復旧費	4,030万円
公債費	33,310万円
予備費	1,000万円

※万円未満は四捨五入

平成31年度予算は、骨格予算の為、補正予算にて肉付を行う予定である。

平成31年度 奈義町の主要事業



プレミアム付商品券

- まち・ひと・しごと事業費
2億5,390万円 (継続)
- 豊沢林野勝間田線運行事業
3,250万円 (新規)
- 子育て支援・少子化対策
8,417万円 (継続)
- 高齢者生活応援券事業
2,577万円 (継続)
- ナギテラス運営管理事業
1,111万円 (新規)
- プレミアム付商品券事業
985万円 (新規)
- 災害復旧事業 4,030万円 (継続)

どうなる まちづくり

3月定例議会は3月6日から22日まで17日間行われ、**条例6件、補正予算9件、当初予算12件、同意6件、設置1件、選任1件、その他9件、決議1件計45件**を審査し決定。8名の議員が一般質問を行いました。

《条例》

○奈義町営なぎバス条例

勝間田、林野方面への町営バスの運行に必要な事項を定めるもの。

(全員一致)

○奈義町多世代交流広場ナギテラス設置及び管理運営に関する条例

交流人口の増加と賑わいの創出を図るため、情報発信、地域交流、多世代交流及びスマートフォンビジネス等を促進する施設として、奈義町多世代交流広場ナギテラスの管理運営について定めるもの。

(賛成7、反対2)

○奈義町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一

部を改正する条例

国の人事院規則改正に伴い改正するもの。超過勤務の制度等。

(全員一致)

○奈義町廃棄物処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

町による家電の回収及び回収に係る手数料について、戸別収集に関する手数料を追加するもの。(全員一致)

○奈義町課・室設置条例の一部を改正する条例

情報財政課・まちづくり戦略室を統合し、情報企画課を設置するもの。(全員一致)

《当初予算》

平成31年度一般会計、特別会計9件、企業会計2件については、予算特別委員会に付託し、審査が行なわれました。

本会議では、委員長報告を受け、一般会計については、反対、賛成討論が行われた後、採決の結果、賛成多数で可決されました。

(賛成7、反対2)

特別会計、企業会計については、全員一致で可決されました。(6頁参照)

《同意》

○奈義町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

任期満了に伴い

永幡 英明氏

(皆木・62才)

○奈義町農業委員会の委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を過半数以上とするものにつき同意を求めることについて

○奈義町農業委員会の委員

任命につき同意を求めることについて

森淵 勇氏 (小坂)

森安伸行氏 (豊沢)

花房則道氏 (荒内西)

岡本 誠氏 (高円)

柴田 正氏 (柿)

小栗合基行氏 (中島東)

木村弘始氏 (上町川)

國富良幸氏 (西原)

高取道廣氏 (成松)

芦田尚也氏 (広岡)

小童谷三美恵氏 (中島東)

豊福雅人氏 (中島西)

○奈義町副町長の選任につき同意を求めることについて

前副町長の退任に伴い、

森藤 文典氏

(滝本・62才)

○奈義町教育長の任命につき同意を求めることについて

前教育長の退任に伴い、

和田 潤司氏

(荒内西・60才)

○奈義町固定資産評価委員の選任につき同意を求めることについて

森藤 文典氏

(滝本・62才)

(以上全員一致)

3月 定例議会

平成31年
3月6日～22日

これから 新しい

《設置》

○演習場対策特別委員会の設置について

演習場の安定使用と諸課題に関する調査・研究を行うため、設置する。

《選任》

○演習場対策特別委員会委員の選任について

(2頁参照)

《決議》

○奈義町立奈義中学校の建て替えを遅滞なく進めることを求める決議(案)の提出について

(全員一致)
(6頁参照)

《その他》

○奈義町ひとりぐらし老人等共同生活住宅並びにふれあいセンターやまびこ荘の指定管理者の指定について
特定非営利活動法人風まくら

代表理事 古山和正

○奈義町小規模多機能型居宅

介護施設奈義つくし園の指定管理者の指定について

社会福祉法人 慈風会
理事長 花房 孝

○奈義町商工業研修等施設の指定管理者の指定について

作州津山商工会

会長 田村正敏

○なぎ高原山彩村の指定管理者の指定について

なぎ高原山彩村企業組合

代表理事 爲季 正

○奈義中央浄化センター等の指定管理者の指定について

有限会社 田村商事

代表取締役 田村俊夫

○勝田郡老人福祉施設組合規約の変更について

○町道の路線認定について

西原荒閑線(西原字

岡畑、西原字土居の内

川平)、延長96・7m。

○町道の路線変更について

久慈屋敷線(起点・

中島東字久慈屋敷)の

終点を中島東字宮ノ前

から中島東字東畝へ変

更。延長は107・4

mから200mに。

(以上全員一致)

《補正予算》

		補正額(万円)	予算総額(万円)	
一般会計	8号	△ 11,800	463,000	
	9号	0	※463,000	
国民健康保険	2号	△ 2,526	79,721	
豊並財産区	1号	23	773	
柿財産区	1号	18	768	
介護保険	4号	△ 5,470	79,747	
下水道	3号	△ 460	29,586	
後期高齢	2号	△ 596	8,250	
上水道	1号	収益的 収入及び支出	△ 370 22,665	
		資本的	収入	△ 1,630 11,040
			支出	△ 500 15,690

※組み替えのため、総額に変更なし

予算特別委員会報告

3月12、14日、予算特別委員会を開催し、平成31年度の予算を審査しました。

なお、町長より「この予算は骨格予算であり、政策については補正予算で対応したい」との考えが示されました。

◎一般会計

(前年比8・2%減)

40億5000万円

◎特別会計

20億7330万円

◎企業会計

2億3846万円

としました。

審査した内容は、

一般会計

問…住宅リフォーム助成の対象に、商店等は含まれるか。

答…商店等も対象に含めることを検討する。

問…地域おこし協力隊の報

酬項目があるが、新たに募集をするのか。

答…目的を決めて、新たに募集する予定である。

問…ナギテラスの運営の見通しは。

答…もともとの趣旨は、

★町民の集う場所

★交通の拠点

★町外客の玄関口

である。この機能を充実させるとともに、多くの方々に有効利用していただくよう考えていく。

問…ナギカラに替わる新しい法人に、ナギカラと同等の能力がのぞめるか。

答…新しい法人については、未知数なので、答えられない、等でした。

まち・ひと・しごと事業費については、追加資料の提出を受け、審査を行いました。

また、中学校建て替えに向けた予算が計上されていなかったこと

が問題となり、話し合いの結果、議会の考えを決議として提出することを決定しました。(下記のとおり)

特別会計

問…土地取得特別会計の基金は、認定こども園の土地購入に使えるか。

答…こども園の土地を取得する際にも使える。

問…水道管布設の助成は、新築以外にも対応ができないか。

答…今後、空き家活用等もあるので、十分検討したい。

慎重に審査をし、採決を行った結果、一般会計(賛成7、反対2)、特別会計、企業会計(全員一致)で可決し、本会議にて予算特別委員会として報告することとしました。

奈義町立奈義中学校の建て替えを遅滞なく進めることを求める決議

奥町長は平成31年奈義町議会第1回定例会の施政方針において、耐震強度が不足している奈義町立奈義中学校への対応として、建て替えには時間を要することから、生徒の安全を最優先に考え、耐震改修の可能性を検討する旨を表明した。奈義町議会は、平成28年にこの問題が明らかとなって以降、一貫して改修ではなく建て替えを求めてきた。第17期議会としても、この方針を堅持することを確認している。これは、耐震強度が不足し、施設が老朽化しているだけでなく、構造的にも生徒が学ぶ環境として良好とはいえないことを考慮してのことである。

このたびの奥町長の中学校を耐震改修する意向は、定員や施設の利便性の面から認定こども園の設置が急がれ、中学校の建て替えと同時に進めることは財政的に負担が大きいことも理由とされている。しかしながら、財政的な負担については当然理解されていたことであり、奥町長の説明では、議会や町民に示されてきた改修を行わず建て替えるという方針を覆すにいたった理由として納得できるものではない。

また、生徒の安全は最優先に考えられるべきではあるが、そのみを確保してさらに長期間、学びの場で子どもたちに不便を強いることは避けるべきである。

奥町長には、子どもたちを「奈義町の大切な宝物」と高らかに謳った奈義町子育て応援宣言の精神に立ち返り、中学校の建て替え、こども園の設置を、双方必要な予算措置を含め、遅滞なく、全力を尽くして進めるよう求めるものである。以上、決議する。

平成31年4月8日

岡山県勝田郡奈義町議会



小阪 四郎 議員

Q 新町長の公約について問う

A 人口維持に全力で取り組む

Q 地方創生事業の見直しについて

A 出発点に立ち返って考え直す

質問 地方創生事業の見直しについて、ナギカラの会計を監査報告すれば、町民の皆さんの理解をいただけるのではないか。

答弁 町長 出発点に立ち返って考え直す。ナギカラにかわる町民主体の法人を設立する。

Q 人口維持の取り組みは

A 人口減少は町を揺るがす。若者が定住しない町には将来はない

質問 公約にある「住宅改造成事業の創設、新築住宅補助の強化」は、両方行う必要があると思うが、財政的には可能か。

答弁 町長 人口維持への

住宅施策は、新築住宅、分譲宅地、空き家の流動化を行う必要があると考えている。大きな財政負担とならない仕組みづくりを検討しながら進めていきたい。

質問 「移住定住サポーターの育成と配置」「空き家の利用促進と不要宅地・家屋の寄付受け事業の創設」は、実現できれば人口維持に対する武器になると思う。信用度の高い人物を配置する必要があるが、人的に、また財政的に具体的な考えはあるか。

答弁 町長 奈義町の案内役、不動産の取引仲介役は重要な部分であり、人柄によるところが大きい。役場OBも含めて検討したい。財源については、行財政改革を行い、町民の皆さんとも協議を行いながら財源確保に努めたい。



護岸洗掘 (荒内西地内)

Q GAP^{*}認証の取り組みについて

A 取り組みを推進したい

質問 GAP認証の取り組みについて。

答弁 町長 国外への農産物の輸出等を視野に入れた場合、国際基準であるGAP認証は有利なので取り組んでいく必要がある。

※GAPは農業生産において食品安全、環境保全、労働安全、人権保護、農場経営管理の維持可能性を確保するための農業生産工程管理の取り組みである。

質問 河川の浚渫等豪雨対策への早期取り組みについて。

答弁 町長 豪雨による護岸洗掘を受けている箇所や異常堆積により氾濫の恐れのある箇所は、水利関係者と調整を図り、緊急度の高い箇所から早期対応する。

Q 自衛隊との共存共栄について

A 隊員の求める支援も行う

質問 自衛隊との共存共栄の町づくりについては、駐屯地の隊員増員に向けた強力な要望活動展開は非常に大切である。演習場の安定使用、自衛隊と町民との交流促進など、出来る所から行うべき。

答弁 町長 日本原駐屯地と情報交換を密に行い、隊員が町に求める支援を的確に把握し、住みやすく、町に永住したいと思える町づくりを行う。



菜の花まつりで大人気の自衛隊協力車両

Q 人口の流出に 歯止めがかかるか

A 若者が定住・移住しない町には 将来はない



岡部 英生 議員

質問 過疎化や高齢化が急速に進む中、町内でも地域活力の低下や空き家の増加、農地や森林の荒廃など、課題が山積している。そうした中で、定住・移住先として奈義町への魅力のPRを行い、本町への定住・移住を強力に推進することが、地域の活性化につながり、人口減の歯止めになると考える。定住・移住施策にどのように取り組まれるのか。

答弁 町長 人口減少はさまざまな町民生活に影響を与え、行政基盤を揺るがす深刻な課題である。若者が定住・移住しない町には将来はない。具体的には、まず暮らしやすいまちづくり、魅力あるまちづくりが必要である。魅力ある子育て、教育の充実を図る。若者のやる気、チャレンジを応援するシステムを構築し、安心して暮らせる福祉と環境を整えたい。教育、子育ての面では、早急に認定こども園の整備を進める。併せて教育、子育てのマンパワーの充実を図る。

将来、年をとっても暮らしやすい町が、定住化に、そして移住につながり、将来を見据えたまちづくりになるよう、行政資源の最適配分を図っていく考えである。

Q 安定的な財政運営を

A 財政状況の指数は県下で優良な水準

質問 今後は、中学校・認定こども園の建設に向けて大事業が控えている。基金も多く積み立ててあるが、町財政も抜本的に歳出の抑制を行い、産業の育成に必要であると考えます。

町長の思いが盛り込まれた新たな町政の羅針盤をぜひとも早期に策定していただきたい。

答弁 町長 財政状況の指数となる数値は県下でも優良な水準である。今後のこども園の建設、中学校の建



期待が高まるナギテラス

て替えなどの大型事業を同時に実施する場合、財政の悪化は避けて通れない。歳出抑制については、来年度、行財政改革に取り組みたい。

産業の育成は、基幹産業である農林業・畜産業の振興を図る。

そして、安定的な財政運営を図るとともに、次期ま

ちづくり総合計画の中で具体的な方針や施策を定め、町民皆様とともに考えていく。

その他、教育問題について、教育の町・奈義町の復活に向けての取り組み、暴力、いじめ、不登校などについて質問をした。



上原 伸介 議員

Q 中学校は、なぜ建て替えではなく耐震補強なのか

A 財政上の都合による

質問 「建て替え」で進んでいたはずの事業が、何故「耐震補強」という考えになったのか。

答弁 町長 中学校の建て替えと、子ども園建設の同時実施は、財政の悪化を避けて通れないため、耐震補強の可能性を考えた。

質問 建て替えに要する費用の財源は確保されていたのでは。

答弁 町長 関係省庁からの補助金等を想定し、建て替え可能と判断した。現在でも建て替え可能であると考えている。

しかし、こども園建設との同時進行になると、多額の借入金や起債が必要となる。人口維持施策のための事業ができなくなる心配がある。

質問 仮に、耐震補強を行った場合、いま求められている教育環境への対応は可能なのか。

答弁 町長 耐震化はあくまで建物の強度を上げるものであり、教育環境の整備には対応できない。



建て替えが待ち望まれる中学校

Q 給食費無料化のスケジュールは A 意見を聞きながら慎重に進める

質問 学校給食費の保護者負担は、年間約2500万円かかっている。今後どのようにしてこの金額を無料化していくのか。

また、この金額の補填は子育てを終えられた方々からの税金も使われることになるが、どのように合意形成を図っていくのか。

答弁 町長 奈義町は子育て支援の町であり、また食育の観点からも、このことに対して取り組む価値は大いにありと考えている。御飯を食べさせることは、親の義務であるとの意見も理

解している。今後は、保護者や教育関係者からの意見を聞きながら、慎重に進めていきたい。

Q はしかワクチンの確保状況は A ワクチン接種は事前予約を

質問 「はしか」は命にもかかわる危険な病気だが、毎年のように流行を繰り返している。予防接種が十分であることが原因とされるが、町民の摂取状況は把握できているか。

また、必要ワクチン数の確保は可能なのか。

答弁 町長 平成元年からの接種履歴データはあるが、それ以前については不明。

答弁 町長 こども・長寿課長 ワクチンは、医療機関や製造販売元に状況を尋ね、情報を提供している状態。接種については、医療機関への問い合わせ、または接種予約をしていただくことを勧める。

Q 地方創生の経緯は

A まち・ひと・しごと 総合戦略の策定から



鷹取 渡 議員

質問 つながる地域づくり研究所と奈義町は、どんな経緯があってコンサルタント契約を結んだのか。

答弁 町長 平成27年に創生事業が始まった際、国の政策や地方行政に精通しており、奈義町や津山圏域の状況も把握しており、見積りも一番少額だった。

質問 平成31年度2億5400万円の予算のうち、73%を町の事業に移すと、職員の負担が増え、通常の業務にさしつかえはないか。

答弁 町長 職員の仕事量を勘案する必要があるが、当分の間、負担がかかるので、申し訳ないと思っ

質問 地方創生事業では新しい事業が幅広く展開されているが、継続していくものの、見直すものがあると思うが。

答弁 町長 今後の事業の選択は、それぞれ重要であるが、しごとコンビニについては、計画通りには行っていないと認識している。必要などころには資金を投

入しなければならぬが、町の負担の軽減も大切であると考えている。国は平成33年以降も創生事業は継続するようであり、予算を確保していきたい。

質問 企画・立案を担当する法人と、運営・業務を担当する町民主体の新法人を作ると言われているが、ナギカラとの関係はどうなるのか。

答弁 町長 基本的にナギカラは30年度で切りたいが、11月末までがナギカラの事業年度なので、移行期間が必要である。原点に戻って見直しをしながら、新しい組織を早い時期に立ち上げたい。

Q 中学校及び認定こども園の建設は A 町民の声、議会の意見を尊重したい

部、教育委員会、議会も確認していたことだと思いが、どうなるのか。

答弁 町長 先日保育園を見たが、定員いっぱいであり、給食室も狭く、調理も大変で、先生も調理員の方も苦労されている。

中学校についても、耐震補強だけでは、新しい教育はできないと思っ

ている。住民の皆様や、町民代表の議員の皆さんの意見は早期に中学校を建て替えるべきと受け取っており、その意志を十分反映しなければならぬと思っ

ている。大きな事業なので財政のシミュレーションを見ていただい

て協議を進めたい。混乱を招かないよう早目に結論を出して、前に進まなければならないと考えている。



活躍の場を広げたい しごとコンビニ



岡 立議員

Q グランドデザインの今後は

A イメージ図より理念を共有

質問 町の未来設計図、グランドデザインは、新町長となり変わるのか。

答弁 町長 まちづくりの理念を町民の皆さんと共有してからグランドデザインを策定する必要があると考えている。

質問 町づくりの理念は、共有する必要があるが、その方法は。

答弁 町長 職員も一致して、町民の意見を聞いてまわる事も大切。そこからまちづくりが進んでいくと思う。

質問 町民の声を聞く、その他の方法として今後の方針は。

答弁 町長 既に素案はできているが、ていねいにつくる必要がある。パブリックコメント等の方法も検討したい。

質問 時間がかかっても良い物と考えてはいるが、次々に決っていくこともあるので、町づくりの元となるグランドデザインはなるべく早い方が良いのでは。

答弁 町長 早くできるように



住み慣れた場所で最後まで

こしたことはないが、先すべき事があるので、もう少し時間をいただきたい。

Q 介護保険料の低減と在宅介護支援の充実は

A 住みなれた場所で元気に最後のときまで過ごせる仕掛けを町が支援

質問 奈義町の介護保険料は県内でも高い方であるが、その分、施設も充実している。保険料を低く抑えようとすれば、在宅介護への転換が必要ではないか。

答弁 町長 選択肢として施設があるのでありがたいが、自分の住みなれたところで最後までという気持ちに支援を充実させたい。

質問 町内にヘルパーの事業所が無くなっている。今後の支援の充実への確信がえられるのか。

答弁 町長 原因を考える必要があると思う。町内にヘルパーの事業所が必要と思っ

ている。ぜひ復活をしたいと思いますと考えている。

Q 夜道をもう少し明るい奈義町に

A 地区での設置に補助金

質問 車生活中心の奈義町は夜間、出歩くときに、暗い所が多い。もう少し対策が必要ではないか。

答弁 町長 地区で必要なところには設置していただき、補助金をつけていきたい。

質問 防犯灯が必要なのは、多くは子供たちなので、一度声を聞いてみてはどうか。

答弁 町長 地区の懇談会等で意見を出していただき、予算が足らなければ、町の予算をつけて推進したい。

質問 直接申請するところを、役場に設ける等、少しくまびやかならどうか。

答弁 町長 まず地区の懇談会を利用し、公共施設の周りには町で設置、その他は地区で申請し町が補助する

Q 中学校の改修方針は改めよ

A 議決事項については守っていく



森藤 政憲 議員

質問 今回の町長選挙をどう受けとめているか聞きたい。笠木前町長の敗北の要因は、中学校移転問題での混乱、ナギテラス（王将跡地施設）に代表される、ナギカラ主導の地方創生事業への批判が中心問題であると思うがどうか。

答弁 町長 ご指摘のところが多分にあったように考えている。私もその反省の上に町政を行いたい。

質問 奥町長は、選挙戦の中で、中学校は建て替えまでは時間がかかるので、耐震化（改修）をすると述べている。この時間をどのくらいと考えているのか。

答弁 町長 5年程度を想定している。

質問 それならば、改修には1〜2年は掛かるので、わずか3年のために、億のお金を使うのか。無駄だ。

答弁 町長 過疎債を償還する事を考えれば、10年〜12年くらいは掛かるかもしれない。

結局、建て替えをしない、という事となる。議会は、建て替えを確認しているのに、議会の意思に反することとなる。認められない。

Q 混乱の責任はナギカラにもある

A 町に責任がある、と考える

質問 ナギカラは、中学校移転プランの提起で混乱の要因を作った。また、地方創生事業もうまくいっていない。もちろん、町長に責任があるとは言え、ナギカラにも大きな責任がある。委託はやめるべきだ。

答弁 町長 ナギカラは町の委託事業者。それを使ったのは町であり、町に責任があると考える。地方創生事業がうまくいっていない、とのご指摘は、その通りで

ある。ナギカラへの委託は30年度で切り替えるが、引き継ぎが必要なので、その時間はいただきたい。個別の事業はナギカラには委託をしない。



地方創生事業の象徴「ナギテラス」—これからどうなる？

Q 高い火葬料金への助成を助成をしようにしたい

質問 奈義町の火葬料金は、県下でも高い。助成を行ってはどうか。

答弁 町長 県の平均額15000円との差額は援助をしたい、と考えている。



定森 廉敏 議員

Q 中学校建て替えについての 答申書の扱いは

A 尊重したい

質問 子育て教育検討会の答申書の取り扱いについて、確認したい。

答弁 町長 昨年3月5日に、中学校は現在の位置で建て替えること、こども園は小・中学校の周辺または公共施設周辺とすること、という答申が町長宛になされた。町としても、答申を尊重した場所で建設を進めていきたい。

質問 耐震の検査によって、建て替えとなった経緯をお聞きしたい。

答弁 町長 平成27年度に実施した、コンクリート強度調査、耐力度調査の結果を受け、議論を開始した。平成29年、詳細なコンクリート調査を実施した結果と、専門家のご意見も踏まえて建て替える方向にいったつと認識している。

質問 以前、中学生を対象に、中学生自身が望む中学校についてのワークショップを行った。町長は耐震改修の方向を示しているが、それではワークショップで出された子ども達の夢をつ

ぶすことになるのではないか。

答弁 町長 子ども達の気持ちは大切に、全てがかなうというふうには思わないうが尊重したい。

質問 奈義町の将来を担う子ども達に先進的な教育、情報処理社会に生かされる教育環境を整えてもらいたい。このことが、将来の人口維持の可能性につながると思う。

答弁 町長 奈義町の将来を担う子ども達を育てたい、という思いは同じであると思っている。

質問 子ども園の候補地については。

答弁 町長 公共施設の周辺もしくは、教育施設の周辺という答申をいただいたと認識している。

Q 基本構想検討委員会について
A 基本的に検討していた理念に変わりはない



タブレットの有効利用を

答弁 町長 地方創生事業の今の、32年度までの枠組みのなかで、できることに取り組んでいきたい。持続可能な町として、まちづくりを努力する。

質問 委員会では、理念として、考える子ども、考える教師、そして環境整備といった方向で話を進めていたが、現在はどうなっているのか。

答弁 教育長 基本的には変わっていない。

質問 アクティブラーニング、そろばんを利用した数値化やメディアアセンター等、新しい時代に添った教育環境や、タブレットの有効利用も考えてもらいたい。

答弁 教育長 教育改革プランとの整合性を図り、子ども達が学びやすいよう努力する。

Q 地方創生事業について
A 持続可能な町づくり

質問 地方創生事業に取り組んで、地域の活性化、子育て支援は充実されたのか。

Q 時代に適合し、利便性のある公共交通を

A ニーズに合ったものをつくるのが大切



中井 泰洋 議員

質問 高齢化率も上がり、奈義町も、今後高齢者の移動手段に影響が出てくると考えるが、高齢者に対する交通の維持発展について町長の考えは。

答弁 町長 自分で移動するのが基本ではあるが、高齢になり運転が困難、不安で免許返納をする、移動手段が無いなどということになれば移動手段の確保が必要であると考えている。31年度から、より便利に利用できるよう、有償デマンド乗合タクシーを検討しており、試験運行をしたい。

質問 4月から運航予定のなぎバスについての説明を。

答弁 町長 平成29年度まで運行していた既存路線が廃止になったため、既存路線・時刻を踏襲する形で運行する。終着点は林野高校

Q 今後の高齢者に対する交通について

A デマンド型乗合タクシーを検討中

から勝間田駅まで延長をし、勝間田高校経由で運行する。

質問 これから先、利用できる交通手段が色々と考えられるが、時代に合い、効率良く利便性の高いものに仕上げていかなければと考えるが、町長の考えは。

答弁 町長 全体的には、皆さんが利用しやすい、ニーズに合った公共交通を築き上げていくことが大切。予算も考えながらやっていく必要がある。

質問 時代にも適合し、利便性の高い公共交通を

A ニーズに合ったものをつくるのが大切

質問 防災計画の見直し

A 31年度中に見直しを検討したい

防災計画の見直しの

Q 全地区、集落営農組織設立について

A 理想ではある

予定は。

答弁 町長 平成31年度中に抜本的な地域防災計画の見直しを行う予定である。

質問 施政方針で集落営農組織の全地区創設との話があったが町長の考えは。

答弁 町長 理想ではあるが、地区にはそれぞれの事情があり、複数の地区での設立や、既存組織に加わることも考えられる。



ナギテラス発→勝間田行「なぎバス」

組合議会の報告

勝英衛生 施設組合

2月19日定例会が開催され、平成30年度補正予算が上程された。歳出総額1億324万円のうち298万円の款内組み替えて、歳入歳出総額に変更はなく、1億324万円。

また、平成31年度一般会計予算、歳入歳出総額9780万円が上程された。それぞれ原案通り可決した。
(鷹取、中井議員)

勝英農業共済 事務組合

2月19日定例会が開催され、平成30年度補正予算が上程された。歳入歳出総額4億437万円から1365万円を減額し、歳入歳出総額3億9072万円となった。

また、平成31年3月31日

をもって岡山市町村総合事務組合を脱退することについて上程された。それぞれ原案通り可決した。
(岡親佐、中井議員)

津山広域 事務組合

2月22日定例会が開催され、平成30年度一般会計補正予算が上程された。総額からそれぞれ590万円を減額し、歳入歳出総額5715万円となった。

また、平成31年度一般会計予算、歳入歳出総額3252万円が上程された。それぞれ原案通り可決した。
(芦田議員)

津山圏域資源 循環施設組合

2月14日定例会が開催され、平成31年度予算総額15億8855万円が上程され、原案通り可決した。奈義町

津山圏域 消防組合

の分担金は4764万円となった。(鷹取、岡部議員)

2月22日定例会が開催され、平成30年度補正予算が上程された。歳入歳出総額461万円を追加し、歳入歳出総額27億5292万円となった。また、平成31年度予算、歳入歳出総額26億4863万円が上程された。それぞれ原案通り可決した。
また3月24日、新庁舎として移転した柵原出張所の落成式に出席した。
(上原議員)

勝田郡老人 福祉施設組合

2月15日定例会が開催され、平成31年度一般会計予算、歳入歳出総額1億5848万円が上程された。

また、指定管理制度導入のための条例改正などの議案が審議された。それぞれ原案通り可決した。奈義町の分担金は、759万円となった。(森藤、定森議員)

平成30年度後期分政務活動費一覧表 (平成30年10月～平成31年3月)

議員氏名	収支報告額(実績) 単位:円						支給決定額	政務活動費の主な使い道
	調査研究費	研修費	会議費	資料費 資購入費	広報費	合計		
中井 泰洋	28,137					28,137	28,137	先進地視察(京都府亀岡市、兵庫県多可町)
岡部 英生				3,791		3,791	3,791	「あいさつ・スピーチ実例事典」他購読
小阪 四郎	28,137			79,473		107,610	60,000	先進地視察(京都府亀岡市、兵庫県多可町)、「地方議会人」他購読
鷹取 渡	28,137					28,137	28,137	先進地視察(京都府亀岡市、兵庫県多可町)
芦田 一郎				7,000		7,000	7,000	「地方公共団体式辞あいさつ事例集」購読
森藤 政憲			11,780	14,901	4,190	30,871	30,871	「議会報告・懇談会」実施、「地域再生」他購読、「森藤まさのり議会だより」発行
岡 立				2,000	34,976	36,976	36,976	「地域再生」購読、「岡りつだより」発行
岡 親佐	28,137			5,400		33,537	33,537	先進地視察(京都府亀岡市、兵庫県多可町)、「地方議会運営事典」購読
桑村 由和		12,920		2,808		15,728	15,728	市町村議会議員特別セミナー受講、「地域人口ビジョン」をつくる」購読
安藤 栄一	28,137					28,137	28,137	先進地視察(京都府亀岡市、兵庫県多可町)
計	140,685	12,920	11,780	115,373	39,166	319,924	272,314	

委員会報告

総務常任委員会

保育園受け入れは大丈夫か？

3月1日、町長、各課長出席のもと委員会を開催し、所管事務の調査を行った。主な質疑は次の通り。

問…ナギテラスの管理運営は。

答…条例では指定管理ができるが、当分は直営で対応する。

問…なぎバスの業者委託は。

答…バスは町で用意する。乗車料金は町の歳入とす

エコビーフの取り組みは？

まちづくり・文教常任委員会

3月4日、町長、担当課・室長出席のもと、所管事務の調査を行った。主な質疑は次の通り。

問…ナギフトポイント町外者カードを増やすキャンペーンをしてはどうか。

答…町外者カードをPRする機会を増やすよう努めている。今後も工夫を重ねていく。

問…地産外産で、今後計画されている庭先出荷とは。

答…運搬手段が無く出荷できない人の所に集荷行き、山彩村で販売する。

問…エコビーフの取り組みについて。

答…あくまで、CO2の削減に対し補助をもらう事業である。別の側面からナギビーフを売っていき

る。車両の維持管理等の委託料は概ね900万円程である。

問…景観計画の内容は。

答…奈義町に残していかなければならないものを守っていく条例にしたい。

問…廃棄物の戸別回収については、引き取り手数料1個につき10000円に加え、戸別回収の手数料15000円で、合計25

00円となるが、高いのでは。

答…勝央町も15000円の予定である。妥当と考えている。

問…保育園の定員1000名、10月からの無償化に向けての対応は。

答…定員の2割以上超えては受け入れできない。保育について総合的に検討する。

全国町村議会議員特別表彰

平成31年2月27日、岡山県町村議会議長会総会が開催され、同会監事を務めた小阪四郎議員（前議長）が議会の運営及び地域振興発展に貢献された功績により表彰を受けられました。



編集後記

新緑がキラキラとまぶしい時期となり、山も田畑も活動的になりました。我々議員も第17期の新しいメンバーによる発行でお届けします。今後も切磋琢磨し、より良い紙面作りを目指してまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。（小阪）



【編集委員】

委員長 小阪 四郎
副委員長 中井 泰洋
委員 鷹取 廉敏
委員 定森 渡
委員 上原 伸介
議長 岡 親佐